



新仏四柱を悼み

尼講法会営まれる

穏やかな日和に恵まれた六月九日、尼講の法会がいかるぎ館で行われました。例年通り西慶寺、常称寺、宮森の南桂寺さんをお招きしての読経や法話がありました。今回追悼した物語者の方は林宮子様（妙寛院釋尼徳海）、齊藤恵美子様（釋尼囉法）、八田ユキ様（香讚院釋尼雪寿）、林すみ子様（清浄院釋尼芳映）の四柱の方々でした。改めてご冥福をお祈りいたします。昭和に入つて法名帳に記載合祀された頼成の女性物語者は合わせて三百五十三柱となりました。今年の当番は善導常会でした。



季節のうつた
夏掛けのブルーの中に寝落ちけり

林 香月子

新緑の庄川沿いを歩く

第30回 般若地域巡り

一行で杉森さんの話を聞く



数えて第三十回を迎えた公民館・般老連高齢者学級共催の地域巡りが、爽やかな風の吹く六月八日、およそ五十人が参加して催されました。

グリーンセンターとなみを見学した後、雄神橋袂の弁財天で、かつて庄東小学校の校長を務められたこともある雄神公民館長の杉森貢さんから、庄川の歴史や扇状地の景観などについて懇切な説明を聞きました。庄川の治水に注がれた先人の知恵と苦勞がよく分かりました。立ち寄り正午過ぎ改善センターに帰着しました。

したたる緑に

雅楽の調べ

八田邸拾翠苑

じつすいえん

六月八日、正覚の八田邸で雅楽の公演がありました。これは当主の八田誓治さんが所属されて

いる雅楽団体で、よく知られた越天楽(えてんらく)・洋遊会によるもので、よく知られた



庭園名の由来となつてゐる拾翠楽(じつすいえん)などの管弦や納曾利(なそり)などの舞樂が披露され、百人近い参会者を魅了しました。洋遊会は国内でも有数の民間雅楽団体で、イギリス、ハワイなどの海外公演でも好評を博したほか、本年十月には伊勢神宮式年遷宮でも奉納演奏をすることになつてゐるとのことです。頼成という鄙びの里で著名な雅楽団体の公演に接することが出来るのはまことに有り難いことです。

草刈機のエンジン音響きわたる

頼成総出で大排水路沿い除草



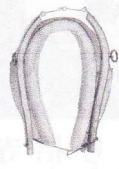
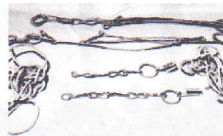
六月二十三日、早朝から地区民あげて大排水路沿いの除草作業が行われました。かつて草刈機は数えるほどしか無く、鎌でかりとつていたので、半日がかりの大仕事でしたが、近年はほとんどの人が草刈機持参で、十時頃までにはおおかた目処がつくようになりました。参加された皆様たいへんご苦勞様でした。

過日、頼成の昔の生活を語り継ぐべく、光寿会の四長老にお集まり願ひ思い出を話していただきました。その録音の中から馬耕の話。



馬を飼つていた家もありました

は何軒かが仲間の借馬でした。早朝、庭先の柿の木につないだ馬にかいばを食べさせて水をやり、口元に引綱(ヒキテ)や轡(クツワ)を、首に胸繫(ハモ)、背中に鞍



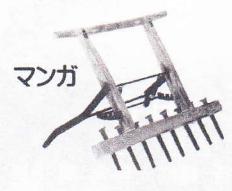
(クラ)、後ろには鍬(スキ)や馬鍬(マンガ)を取り付ける尻枷(スルカス)をつけ、夕方日の傾くまで日がな一日野良で働き続けるもので

した。当時、馬は貴重な存在で、雨が降れば使い手の人間はさておいて馬にペツペを着せかけてやり、夕方出上がりしてくれば一番先に馬盥(ウマダライ)に水をはって丁寧に洗ってやったものでした。

その大切な馬があるとき時ある家から逃げ出して行方不明になり大騒ぎをしたという話もありました。

素足にぬるりとした泥田の感触、荒い鼻息をはきながら黙々と歩き続ける馬の体臭、家族揃って

畦端にすわって食べたおにぎりとかくあん味の。そんなあれやこれやが、今はただただ懐かしい語りぐさとなりました。



らんじよ浮世亭だより

6月の浮世亭では「もったいないおばあさんと世界を考える」というDVDを大画面ビデオシアターで見ました。

これは、いま地球が抱える様々な問題を、世界各地の10人の子供達の生活を通して考えるもので、毎日4時間かけて遠くまで生活のための水を汲みに行かなければならない9歳の女の子、ゴミ拾いをして家族を支える10歳の男の子、一日12時間も同じ姿勢で絨毯織りをさせられて



いる10歳の女の子、銃を手にして戦場に立たされている11歳の男の子(左の写真)などの悲惨な姿を通して、いま、地球上から失われつつあるもったいないものについて深く考えさせる内容でした。

平和な國に安穩に暮らしながら、学校へ行くのを渋ったり、食べ物を残したりしている日本の子供達に、ぜひ見せてやりたいと思いました。

午後は阿弥陀經の読誦と観無量寿經の書写第二十五回、釈尊の説く十三觀のうちの「第九 勢至菩薩觀想」の部分を書写しました。



次回は7月17日(水曜日)です
出前講座「高齢者のお口の健康」の開催を予定しています。口腔の機能とくに歯の衰えは、身体全体の健康を衰えさせます。市の健康センターから保健師の濱井由紀恵さん、歯科衛生士の中山里江子さんを招いてお口の機能低下を予防する方法や、口や歯のことで日頃疑問に思っていることなどについて、いろいろと教えて貰おうと思います。9時開亭。講座は10時から約40分。

いかるぎ

2011年5月号のこの欄で紹介した世界最
高齢の京都府京丹後市丹後町の木村次郎右衛門
さんがこのほど老衰のため亡くなりました。
116歳と54日の生涯でした。

かわって現在115歳の大阪市東住吉区の大
川ミサヲさん写真が世界一の長寿
者となりました。大川さんは18
98(明治31)年、大阪・天満で
呉服屋の四女として生まれました。
90歳を超える息子と娘が健在で、
孫4人、ひ孫6人がいます。

今は特養施設に入所しています
が、毎食後、運動がてら、廊下を車
いすで回っておられるそうです。長寿は誠におめで
たいことですが、それも健康であつてこそのこと
で、生命維持装置をつけたり、介護されたりしなが
ら生きながらえることに、はたしてどれほどの意味
があるのだろうかとお自問することもあります。

高齢者情報

運転免許自主返納支援事業について

砺波市では、すべての運転免許を自主的に返納され
た満70歳以上の方を対象に公共交通機関の利用券を
交付する事業を行っています。支援内容は5,000円相
当分の市営バス定期券(2年分)、加能越バス回数券、タク
シー利用券の中から希望のものを2点交付します。支援
は2年間行います。 担当 社会福祉課

たかはたポークなど 砺波ブランド認定品決まる

砺波市はこのほど、頼成の
たかはた養豚のポークなど9
品目を、市の優れた地域産品
を認定する「となみブラン
ド」認定制度の第1回認定品
として公表しました。

地域産業の振興と地産地消
の拡大のため、市として内外
に広くPRしますが、市民の
皆さんも是非贈答などに活用してください。第一回の認
定品目は次の通りです

- ◆チューリップ(球根)
- ◆チューリップ(切り花)
- ◆大門(おおかど素麺)
- ◆庄川ゆず
- ◆せんだん山そば
- ◆ぶどう
- ◆たかはたポーク
- ◆ふく福柿
- ◆雪たまねぎ
- ◆種もみ